

## 名古屋市及びその周辺の溜池の現状調査

村上哲生（市公害研）・近藤繁生（愛知医大）・浜島繁隆・鈴木達夫（市邨学園高蔵高校）  
須賀英文（千種中学校）

（調査目的・方法） 名古屋市東部及び、その周辺地域に位置する溜池の現状の基礎資料とする為に、該当地域の溜池、172 池について、1983 年 7 月～8 月、形態、環境、水質の調査を行った。いくつかの溜池については、過去、詳しい水質測定データがあるものの、200 以上を数えるこの地方の溜池を網羅したものはない。又、地図上に記載されている溜池であっても、土地利用状況の変化により、姿を消している例も少なくない。このことから、今回、短期間に、なるべく多くの池の現状を記録するという方針で調査を企画した。調査項目は、溜池の形態（堤の種類、人工護岸の割合）、周囲の環境、水質（水色、 $P^H$ 、透視度、水の華の有無）、生物（周囲からの観察、聞き取り）に限定した。

（調査結果） 図 1 に調査した池の分布図を、表 1 に調査結果を示す。

1) 溜池の形態と周囲の環境： 溜池の形態を人手のかかった程度に応じて、A～C の三型に分類した。A 型の池が最も人工的な池であり、C 型の池が自然のままの岸部が残った池である。各型の池の地域毎の分布をみると、守山区、尾張旭市、愛知郡の丘陵地帯では、C 型の溜池の比率が高く（A，B 型 36 %、C 型 64 %）、名古屋市南部から、豊明市、刈谷市の低地部では、A，B 型の比率が高くなっている（A，B 型 71 %、C 型 29 %）。C 型の池は、丘陵地の谷の下部を堤で閉じた形で、平野部には存在し難く、三つの型の池の比率は、その溜池が分布する地域の地形に制約されると考えられる。溜池周囲の環境については、前述の C 型溜池の比率が高い東北部丘陵地帯では、周囲のすべて、又は、一部が林である池が約 8 割を占めるのに対し、東南部平地では、その比率は 6 割弱となる。2) 溜池の水質： 調査した水色、 $P^H$ 、透視度の三項目は、互いに強い関連があり、富栄養化の進行の程度に応じた値をとることが確認された（図 2,3）。浮遊藻類の多い池では、一般に、水色は、緑色系統であり、透視度も低く、又、光合成による炭酸の消費の為、高い  $P^H$  値をとる傾向にあった。このような富栄養化した池は、東南部の低地部に多く分布する。一方、東北部丘陵地帯には、褐色系統の水色、酸性に傾いた  $P^H$  で特徴づけられた一群の池が見られる。これらの池の特性は、周囲の落葉、岸部の水草に由来する腐植質によるものであり、その作用により藻類の生産がおさえられているものと思われる。

（結論） 名古屋市及びその周辺の溜池 172 池を調査した結果、溜池の形態、周囲の環境、水質から、富栄養化した溜池と、腐植質で特徴づけられる溜池との二つに類別できることがわかった。前者は低地部に多く、後者は、丘陵部の林間に分布している。当地方で、豊富な生物群集の見られる池、水の華等で不快感のない池の大部分は、腐植質で特徴づけられた池である。これらの池の腐植質は、水草、周辺の林の落葉に由来するものであり、周囲の林の伐採、護岸工事による水草帯の絶滅でその供給は絶たれ、その池沼型は容易に富栄養型に移行し得る。現在の状況の溜池を維持するには、溜池の水質のみならず、周囲の環境も併せて保全する必要があると考えられる。

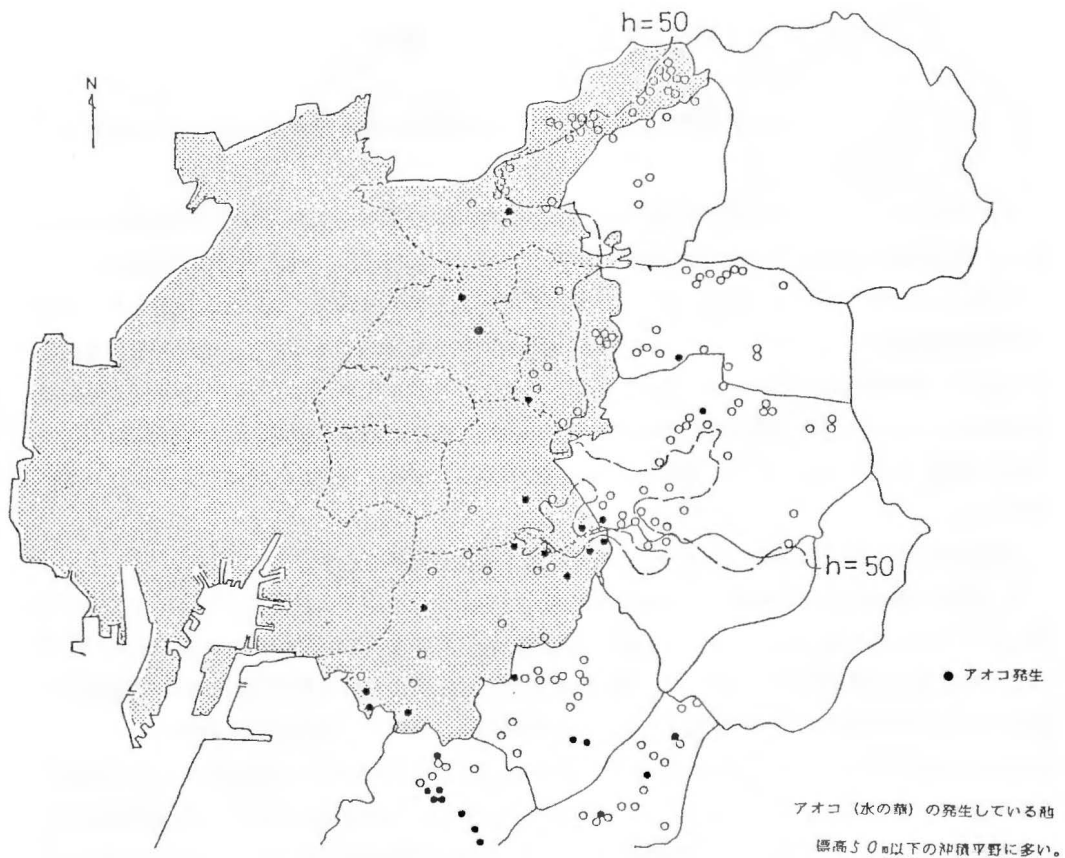


図1. 調査した池の分布図

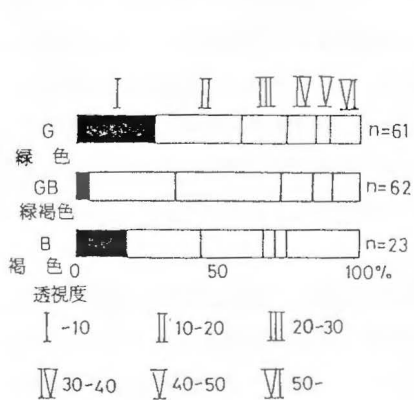


図2. 水色と透視度の関係

緑色の池は透視度の低い池の比率が高く、  
褐色の池は透視度の高い池の比率が高い。

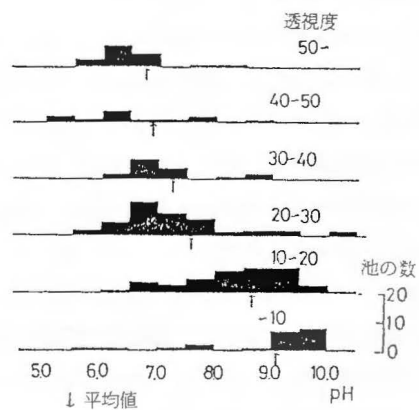


図3. 透視度と pH の関係

透視度の低い池ほど pH が高い。

表1. 調査結果

番号	名称	池の形	環境	面積(m <sup>2</sup> )	水色	P H	透視度(cm)
1) 2)		4)	5)				
001	雨池	C	Ⅲ	16858	緑褐	7.5	19
002	尼池	C	Ⅳ	2032	"	7.5	21
003	石捨池	B	Ⅲ	8228	"	6.6	37
004	大池	C	Ⅳ	4624	緑	6.7	27
005	大久手池	C	Ⅲ	52374	"	6.6	27
006	大村池	B	Ⅳ	52374	緑褐	6.7	26
007	カケヒ池	C	Ⅳ	5950	"	5.4	42
008	風越池	B	Ⅳ	26457	"	9.1	19
009	上池	B	Ⅲ	7933	緑	7.8	19
010	神池	B	Ⅲ	8856	緑褐	6.7	42
011	白鳥池	C	Ⅳ	3404	"	6.6	19
012	新池	B	Ⅱ	16902	緑	7.9	25
013	竜巻池	C	Ⅳ	14971	褐	-	-
014	寺池	C	Ⅳ	5289	"	6.4	14
015	東禅寺上池	B	Ⅲ	6942	緑褐	8.0	16
016	" 中池	B	Ⅲ	3471	褐	7.4	16
017	" 下池	C	Ⅳ	992	"	7.6	15
018	南原池	消滅			野球場		
019	濁池	消滅			産業廃棄物処理場		
020	日の後池	C	Ⅰ	2975	緑褐	7.3	28
021	平池	B	Ⅲ	16116	"	6.7	33
022	大森蛭池	枯		7490	-	-	-
023	志段味蛭池	C	Ⅳ	3471	緑褐	6.7	>50
024	二ツ池上	B	Ⅲ	19834	緑 <sup>06)</sup>	9.4	13
025	" 下	C	Ⅲ		緑褐	8.7	13
026	見返池	C	Ⅳ	8846	"	6.8	27
027	緑ヶ池	C	Ⅳ	28683	緑	6.6	>50
028	安田池	C	Ⅳ	58879	緑褐	6.2	50
029	※小幡緑池	枯渇					
030	※ "	C	Ⅳ	-	褐	6.0	32
031	※下志段味	A	Ⅰ	-	-	-	-
032	※ "	C	Ⅳ	-	-	-	-
033	※ "	C	Ⅳ	-	褐	6.8	19
034	※中志段味	C	Ⅳ	-	"	6.1	>50
035	※上志段味	C	Ⅳ	-	緑	6.7	29
101	茶屋ヶ坂池	B	Ⅲ	6255	褐	8.8	15
102	猫ヶ洞池	C	Ⅲ	65809	褐	6.6	12
201	荒池	B	Ⅲ	10349	緑	9.1	16
202	井堀上池	C	Ⅳ	5157	緑褐	6.0	24
203	" 下池	C	Ⅳ	6886	"	5.6	13
204	ぐみ池	A	Ⅰ	-	褐	6.7	20
205	五合下池	A	Ⅱ	18500	"	8.8	6
206	新池	C	Ⅳ	11918	緑	9.0	38
207	塚ノ杓池	C	Ⅳ	32113	褐	6.1	47
208	デッコ池	A	Ⅰ	17950	緑褐	8.9	17
209	西堀池	C	Ⅳ	9613	"	4.9	11
210	牧野池	C	Ⅳ	229166	"	10.5	21
211	埴彦池	C	Ⅳ	727	褐	5.7	20
212	明徳池	B	Ⅲ	16377	緑	6.1	16

番号	名 称	池の形	環 境	面 積 (㎡)	水 色	P <sup>H</sup>	透視度 (cm)
301	荒 池	C	Ⅲ	91239	緑褐°	8.8	17
302	大 根 池	B	Ⅳ	21584	緑褐	8.4	16
303	新 池	B	I	19835	緑°	9.2	9
304	双 子 池	A	Ⅲ	6446	褐	7.6	23
401	赤松大池	B	Ⅱ	14459	緑°	9.6	8
402	水主ヶ池	C	Ⅲ	76357	緑°	9.9	13
403	要 池	A	I	29126	緑褐	8.6	16
404	神 沢 池	B	I	14876	緑褐°	7.3	33
405	蛇 池	C	Ⅲ	—	緑°	9.5	23
406	四郎曾池	A	I	—	緑褐	9.2	17
407	砂 走 池	B	Ⅱ	12476	緑褐°	9.4	15
408	戸 笠 池	B	Ⅲ	30743	緑°	9.0	18
409	鳴 子 池	A	I	18036	緑褐	7.9	21
410	新 海 池	C	Ⅲ	102824	緑°	8.8	18
411	濁 池	C	Ⅳ	—	褐	8.0	>50
412	平 野 池	B	Ⅱ	19845	緑褐	8.9	40
413	琵琶ヶ池	C	Ⅲ	62391	緑	7.9	20
414	二 ツ 池	B	Ⅲ	8366	緑°	9.5	7
415	螺 貝 池	A	I	20473	緑褐	9.1	28
416	松 池	B	I	6644	褐	7.7	44
417	蝮 池	C	Ⅲ	38988	褐	8.2	33
418	※徳重	B	Ⅲ	—	緑°	9.9	9
419	※ ”	A	I	—	褐	8.1	19
501	維 摩 池	C	Ⅳ	126954	緑褐	7.0	29
502	岩 本 池	C	Ⅳ	55800	—	—	—
503	大広見池	C	Ⅲ	44000	緑	—	—
504	大道平池	C	Ⅳ	46600	緑	7.2	26
505	庵ノ水池	C	Ⅳ	45000	緑	6.8	>50
506	濁 池	C	Ⅳ	144970	—	6.9	11
507	平 池	B	Ⅱ	50214	緑褐	6.9	24
508	※旭ヶ丘町	消滅					
601	井 堀 池	C	Ⅳ	7300	緑褐	6.7	25
602	岩廻間上池	C	Ⅳ	4400	褐	6.5	8
603	” 下池	C	Ⅲ	1200	”	5.8	6
604	杓ヶ池	C	Ⅲ	59000	”	6.8	4
605	卯 塚 池	B	Ⅲ	2500	”	6.2	25
606	オヨナガ池	A	I	—	緑褐°	—	—
607	カキツバタ池	B	Ⅱ	—	褐	6.1	>50
608	北 浦 池	C	Ⅳ	1800	緑褐	6.3	28
609	清 水 池	C	Ⅳ	3800	緑	6.1	37
610	立 石 池	B	I	45800	緑褐	8.5	>50
611	出 田 池	A	Ⅱ	1600	褐	7.6	18
612	中根中池	C	Ⅳ	5300	緑	5.5	12
613	長 鶴 池	C	Ⅳ	20600	”	7.5	22
614	ヒ ロ 池	C	Ⅳ	3700	”	6.2	14
615	溝 入 池	A	I	3400	緑褐	7.4	25
616	上 池	C	Ⅳ	2500	褐	7.2	10
617	宮ヶ洞池	B	Ⅲ	7600	緑	7.0	>50
618	葦 池	C	Ⅱ	5400	緑褐	6.6	30

番 号	名 称	池の形	環 境	面 積 (㎡)	水 色	P H	透視度 (cm)
701	愛 知 池	C	Ⅱ	-	緑褐	7.1	21
702	新 池	A	I	23000	〃	8.6	22
703	阿 良 池	C	Ⅳ	10900	〃	6.8	15
704	新 う 田 池	B	Ⅲ	8100	〃	8.1	10
705	岩藤新池上池	C	Ⅳ	10900	〃	6.6	30
706	〃 下池	B	Ⅲ	30000	緑	6.4	44
707	海 老 池	B	Ⅱ	53400	〃	6.8	38
708	鶴思慕池上池	C	Ⅳ	-	〃	5.1	40
709	笠 寺 池	C	Ⅱ	8000	〃	9.5	8
710	芋 地 池	A	I	5300	緑褐	8.5	18
711	鷺 池	A	I	11300	緑	7.4	20
712	高 松 池	C	Ⅳ	6500	〃	6.5	20
713	寺 脇 池	A	I	1000	〃	6.7	> 50
714	生 出 し 池	B	Ⅲ	16900	緑褐°	9.3	16
715	機 織 池	C	Ⅳ	77300	〃	6.4	21
716	林 池	B	Ⅲ	17400	緑	6.7	36
717	東 池	A	Ⅱ	4700	褐	6.8	> 50
718	藤 塚 池	C	Ⅱ	2900	緑褐	7.5	17
719	二ツ池上池	B	Ⅱ	3700	緑°	8.0	9
720	弁 天 池	C	Ⅳ	31600	〃	7.9	48
721	堀 割 池	C	Ⅲ	5600	緑褐	6.4	23
722	三ツ池上池	C	Ⅳ	2400	褐	5.7	> 50
723	〃 中池	C	Ⅲ	3100	緑褐	6.0	> 50
724	〃 下池	C	Ⅱ	2700	〃	6.3	36
725	五色園三ツ池中	B	Ⅲ	6800	緑	6.3	30
726	〃 下	B	Ⅲ	4300	〃	6.3	> 50
727	蟹甲三ツ池下	A	Ⅲ	8200	褐	6.7	> 50
728	三ツ峰上池	A	I	13000	緑	7.1	32
729	〃 下池	C	Ⅳ	19900	〃	6.3	> 50
730	美濃輪池	A	I	35000	緑褐	7.7	8
731	※岩藤新池北	C	Ⅳ	-	〃	5.9	> 50
801	牛 廻 間 池	A	I	3930	〃	7.8	24
802	濁 池	B	Ⅲ	28647	緑	7.1	9
901	荒 巻 上 池	B	Ⅲ	7000	〃	8.4	11
902	〃 下池	A	Ⅲ	19000	〃	8.4	13
903	大 蔵 池	A	I	37000	〃	9.7	18
904	大狭間上池	B	Ⅲ	13000	緑褐	8.6	33
905	〃 下池	B	I	13000	〃	8.4	18
906	大 原 池	B	I	26000	〃	9.5	11
907	唐 竹 池	A	I	1600	-	7.0	25
908	皿 池	B	Ⅲ	18000	緑褐	8.4	11
909	善 波 池	A	-	14000	枯 褐		
910	稚 池	B	I	16000	緑°	10.4	11
911	鶴 根 池	B	Ⅲ	2000	褐	6.8	22
912	長 池	B	Ⅱ	3000	緑	9.8	42
913	西 池	C	Ⅲ	13000	緑°	9.7	32
914	琵琶池	A	Ⅱ	16000	緑°	10.1	28
915	三 崎 池	B	Ⅲ	20000	緑	6.9	> 50
916	三 ツ 池	B	Ⅲ	12000	緑褐	7.2	33

番号	名称	池の形	環境	面積 (㎡)	水色	P H	透視度 (cm)
1001	岩ヶ池	B	Ⅳ	110951	緑°	7.2	35
1002	牛池	C	Ⅳ	17654	緑褐	7.4	21
1003	大池	B	Ⅲ	3068	〃	6.3	>50
1004	上すり池	B	Ⅱ	9141	緑	9.5	11
1005	唐池	B	Ⅱ	9972	褐	6.7	26
1006	草野池	B	Ⅱ	80828	緑褐	6.4	42
1007	小堤西池	C	Ⅲ	33159	枯褐		
1008	新池	B	Ⅱ	16997	緑褐	7.2	21
1009	洲原池	C	Ⅲ	179627	緑°	9.6	9
1010	竜ヶ根池	B	Ⅱ	29563	緑	9.7	9
1011	沼田池	C	Ⅳ	8833	褐	8.0	21
1012	花池	A	Ⅰ	15131	-	6.8	35
1013	広沢池	C	Ⅳ	20413	緑褐	6.0	48
1014	間野四郎池	B	Ⅱ	12411	〃	7.0	17
1015	南池	B	Ⅱ	42964	緑°	8.6	24
1016	山根池	A	Ⅰ	3358	緑	7.3	46
1101	釜池上池	A	Ⅰ	11445	緑褐°	9.3	8
1102	〃下池	A	Ⅰ	6578	緑	9.0	17
1103	鴨池上池	B	Ⅲ	9371	緑°	9.0	17
1104	〃下池	B	Ⅲ	14082	〃	9.1	9
1105	川池	A	Ⅰ	18269	〃	9.7	8
1106	新池	A	Ⅰ	-	〃	6.8	21
1107	澄池	A	Ⅲ	6968	〃	9.2	5
1108	立会池	A	Ⅰ	4287	〃	9.9	9
1109	立合池	C	Ⅳ	18670	緑	9.2	10
1110	トチネ池	B	Ⅲ	1487	緑°	9.5	9
1111	二ツ池	C	Ⅳ	58591	緑褐	8.5	23
1112	マス池	A	Ⅰ	5000	〃	8.0	18
1113	藪池	C	Ⅳ	5609	緑	9.1	6

表-1の説明

- 1) 該当する池の所属する行政区を示す。(0:守山区、1:千種区、2:名東区、3:天白区、4:緑区、5:尾張旭市、6:長久手町、7:日進町、8:東郷町、9:豊明市、10:刈谷市、11:大府市)
- 2) 各行政区内の通し番号、50音順。
- 3) ※は、無名のため所在地を示す。
- 4) 池の形を示す。(A:コンクリート、石垣による護岸率が80%以上で形は方形で直線部分が多い。B:同護岸率が50%以上で形は半円形または台形で直線部分が比較的多い。C:同護岸率が極めて低く形は円形またはアメーバ状で直線部分は少ない。)
- 5) 池周囲の環境を示す。(Ⅰ:緑地はほとんどなく大部分が人家や道路に囲まれる。Ⅱ:一部に草地または畑地がみられる。Ⅲ:部分的に林や草地で囲まれる。Ⅳ:大部分林で囲まれる。)
- 6) 水色の右肩の丸印は、水の華の発生を示す。